

令和7年度 学校教育目標・学校経営方針・努力事項

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

1 学校教育目標

- 思いやる 豊かな人間性〔徳〕
- 進んで学ぶ 確かな学力〔知〕
- 体をきたえる 健康・体力〔体〕

- ・学校教育目標等及び自身の校務分掌とのつながりを考え、自己の目標を設定する。（自己評価シートを活用し、自身の資質の向上を図る。）
- ・学校行事、学年行事、学習活動等を計画・提案する場合、学校教育目標における位置づけを明確にし、目指す児童像の具現化を図る。

2 学校経営方針

- (1) 社会に出て自立できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成
- (2) 家庭や地域と連携・協働し、信頼される学校づくりを推進
- (3) 児童や地域の実態を基盤とした教育活動の創造
- (4) 教育への情熱と使命感を持ち、学校教育目標の具現化のための全教職員の経営参画意識の醸成
- (5) 指導力・授業力向上を目指し、互いに学び合う教職員集団の形成
- (6) 教職員のメンタルヘルスの保持増進、業務改善を目指した「働き方改革」の推進

目指す学校像

一人一人の瞳が輝く学校

～自尊感情を高め、元気なあいさつと歌声の響く学校～

目指す児童像

自分も人も大切にする子

学び合う子

挑戦する子

目指す教師像

共に学び合い、指導力を高める教師

教養と礼節を高める教師

公平で温かさ・優しさを持ち、人間性を磨く教師

3 努力・重点事項

(1) 基礎的な学力の定着と思考力、表現力、学習意欲の育成

①基礎的・基本的な学力の確実な定着

T・T 授業や習熟度別学習の実施、のびのび算数教室、鶴っ子サマースクール、コバトン復習シート等の活用

②学び合い学習を通して一人残らず学ぶ教室を実現する。(活用力)

③児童の知的好奇心をくすぐる取組、自主学習ノート&読書校長表彰の実施 (学習意欲)

・学習規律や生活習慣の確立

・ICT 機器を活用した授業の推進

〔合言葉〕 学習者用 PC を文房具のように活用しよう！

・各種学力学習状況調査等の結果分析の活用

・読書活動と音読の推奨

・地域と連携・協働した教育活動の推進 (PTA 活動、学校応援団、鶴二小校区地域支え合い協議会、地域企業、民間施設水泳学習、ゲストティーチャー 等)

(2) 生活習慣の向上と豊かな心、健康な体づくり

①道徳教育、人権教育の推進 (いじめの未然防止・不登校解消)

②「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」の徹底

③あいさつと返事の励行

④思いやりの気持ちをもった優しい言動の奨励

⑤しっかり声を出して楽しく歌える場の設定と指導

⑥素直に感動する心の育成

⑦子どもの全力を引き出す体育授業 〔合言葉〕 一生懸命はかつこいい

⑧運動のプロから学ぶ。(ラジオ体操、各種スポーツ種目)

⑨藤中学校区重点種目と本校 (握力・上体起こし) 重点種目の対策

⑩外遊びの奨励と歯磨きタイム (予防と治療率向上) の実施

⑪感染症予防対策の継続

(3) 配慮を要する児童への指導や支援の充実

①授業や教室のユニバーサルデザイン化・SSR の設置

②校内就学支援、教育相談・生徒指導 (いじめ対策委員会) 部会等の組織的対応や支援の充実 (ケース会議、丁寧かつ迅速な初期対応)

〔合言葉〕 行く (やる) ときは一緒

③双方向の報告・連絡・相談・見届け (見守り)・確認

④なかよし学級児童との交流授業等の実践と通級指導教室への接続

⑤ヤングケアラーの早期発見と地域・関係諸機関と連携した支援

(4)安心・安全な教育環境の充実

- ①定期的な安全点検の確実な実施と迅速な修繕
- ②清掃活動の充実
- ③児童やPTA・地域の活動が見える掲示物の工夫「優しさのボタン」
- ④季節の変化に合わせた花壇の植栽・栽培園の充実（緑のカーテン）
- ⑤自助の力の育成〔合言葉〕自分の命は自分で守る。
- ⑥共助の力の育成 一時避難所設営に向けた取組と環境整備
- ⑦交通安全指導員、スクールガード、こども SOS の家との協力・連携

(5)家庭・地域との連携・協働の推進

- ①教育活動等に関する情報発信の充実（各種たより、学校HPの充実）
- ②家庭学習の習慣化（自主学習ノートの推進）・読書活動の推進
- ③幼保小中連携（情報&行動連携、小1問題、中1プロブレムの解消）
- ④地域の有識者集団によるコミュニティスクールのさらなる推進
- ⑤「地域と共にある鶴二小」、「地域から信頼される鶴二小」の創造
・迅速かつ適切な初期対応。言葉遣い等の接遇に気を付ける。
- ⑥持続可能なPTA活動・学校応援団組織（高齢化対策）
- ⑦鶴二小SDGs 資源回収ステーション、花いっぱいプロジェクト

4 その他

(1)教育公務員としての資質・指導力向上のために、自己啓発に努める。

- ①学校課題研究への取組、公開授業・研究授業の実施
- ②研修、研究発表等への積極的な参加（年次研修、希望研修等）
- ③職員室等での情報交換（ベテラン教員の豊富な経験と指導方法と若手教員の斬新な発想とICT活用能力の融合）
- ④読書の推進や教材（教具・指導案等）の共有（整理・保存）
- ⑤倫理確立委員会等で当事者意識を醸成し教職員不祥事防止

(2)全教職員による学校運営への積極的な参加

- ①自らの職務（主任や分掌等）や職責を確実に遂行する。
- ②児童や学校のために自分は何ができるかを考え、実行する。
- ③改善策、支援策等を積極的に具申・共有し、組織的に対応する。
- ④「身内を通わせたい学校」を全教職員で創造する。

(3)働き方改革（業務改善）の推進

※子どもたちと向き合う時間を増やす、教職員の「負担感」の軽減を目指す。

①風通しの良い職員室、働きやすい温かな職場を全員で創りあげる。

- ・何でも相談できる、問題を共有できる教職員集団の形成
- ・組織的対応の合言葉「行く（やる）ときは一緒」
- ・双方向の報告・連絡・相談・見届け・確認で共通認識。

②全教職員のメンタルヘルスの保持・増進に努める。

- ・業務時間の適切な管理

※超過勤務時間 1 月：45 時間以内～鶴ヶ島市管理規則より～

- ・「業務改善会議」の積極的な実施で会議のスリム化を図る。

※分掌会議で方向性を定め、全体の下承のもとに実行・実施する。

※学校行事終了後の振り返りを次年度の計画へいかす。

※学校行事の（準備や運営を含む）見直しと精選を継続して行う。

- ・計画年休等含め、年間 10 日以上を取得を目指す。

※計画年休は毎学期：1 日取得、年間：3 日取得を目標とする。

◎「お互い様の気持ち」で助け合い「休みやすい」環境を。

◎児童の学習が停滞しないようなるべく自習にせず、互いに授業を引き継ぎ合い、授業を進める。（年休時計画を速めに提出）

◎取得日に、確認テストや読書活動、作品制作の続き等の実施

◎同学年との合同授業の調整実施（体育、行事練習、GT 等）

※自身はもちろん、家族を大切にする（育児・介護・行事参加）。

- ・趣味、旅行、読書等で見聞を広げ、休養する時間を確保する。
- ・ノー残業デー、ふれあいデーの確実な実施

③安心・安全・清潔な教育環境の整備

- ・職員室や印刷室、特別教室等の美化や整理・整頓を心掛ける。
 - ※使いたいときに、使いたいものが、速やかに正常に使える状態
 - ※どこに、何が、いくつあるのかを把握し、適切な予算執行を
- ・ケガや事故の未然・再発防止のための安全点検と教育環境整備

④開かれた教育課程の実現 合言葉「すべては子どもたちのために」

- ・地域の有益な教育人材・地域企業との連携・協働
- ・持続可能な PTA 活動組織&学校応援団、鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会、地域企業等とのコラボ授業の実施
- ・災害発生時の一時避難所としての学校防災機能の整備の推進
- ・鶴二小の地域コミュニティとしての価値を向上させると共に、地域教育力を鶴二小に結集させ、開かれた教育課程を実践する。